ひと

風景絵が鎌倉市の返礼品に選ばれた

矢野（やの）　元晴（もとはる）さん

電が走る「鎌倉高校前」、江ノ島を望む「腰越漁港」など5作品。色を淡くのせる従来の水彩画とは違う新しさが選定の決め手となった。

光と影のコントラストで立体感ある鎌倉の風景を描く水彩画家。その作品が鎌倉市の「ふるさと納税」の返礼品として採用された。鎌倉市の返礼品に絵画が選ばれたのは初めてだ。「申し込んでくれる人がこのところ結構増えているんです」と手応えを感じている。

絵は印象派のタッチで描かれていることから、「水彩印象画法」と自ら名付けた。返礼品となったのは、海岸沿いに江ノ

鎌倉市浄明寺に生まれ育った。建築家になろうと思って日大芸術学部へ。卒業し、都内の建築設計事務所に勤務したが、「思い描いた自由なデザインの世界ではない。自分には向いていない」と思って数年で退社。

何をしようか悩んでいた時に、祖父の反対で画家の夢を絶たれた父親のことが頭に浮かんだ。「そうだ、父に代わって画家になれば、親孝行になる」

と思い立ち、横浜の水彩画家笠井一男氏の下、2年間修行した。

独立して2017年大船に「鎌倉水彩画塾」を開き水彩画を教え始めた。生徒が増え手狭になったことから19年には鎌倉駅前の小町に移った。

教え方がユニークだ。海外の風景写真などの題材を与えて、下書きから各段階を矢野さんがデモンストレーション。生徒はそれに従い同じように描いていく。「初めての人でも描ける」がコンセプト。その通り3時間のレッスン内で生徒たちの絵も完成する。人気を呼び、画塾の生徒は10代から90代まで300人を超える盛況ぶりだ。

来年はさらに飛躍の年になりそうだ。4月に鎌倉生涯学習センターで生徒さんの作品展を開催する。初めての画集「平成鎌倉の記憶」（19年出版）に続き、日本の心の原点を描いた画集も来春には出版の予定だ。

自分の絵にはまだまだ満足していない。「もっとダイナミックに、明暗を深く描かねば」「社会を良い方向に変えるようなインパクトある絵を描きたい」と口調に力が入る。

剣道3段、居合初段。最近茶道も始めた。いつも和服姿。「光明寺で野外授業をしていたら、お寺の人と間違えられました」と苦笑。32歳。（文・写真　三浦華司）

予告　2021年1月号鎌倉朝日1面を矢野さんの水彩画で飾ります。

鎌倉の寺社、湘南の海、伝統芸能を

魅力あふれる2021年版カレンダー

鎌倉の四季の移ろい

鎌倉

鎌倉観光協会が作成しているカレンダーは、今年で21作目‖写真左。

新型コロナウイルス感染の終息を願い、表紙に流鏑馬神事「天長地久の式」を掲載し、同協会主催の「鎌倉フロモーションフォトコンテスト2020」の1286点の応募作品の中から選ばれた作品で構成されている。

1・2月の「船おろしの日」（鎌田俊介さん）、5・6月の「一緒に訪れたい紫陽花階段」（齋藤一雄さん）、7・8月の「回せ、回せッ」（辻裕治さん）、9・10月の「伝統風景が2倍楽しめる。大きさもB4ワイドでひとまわり大きくなり写真の迫力増大。

1月は「稲村ヶ崎公園のサザンカ」で、遠方に江ノ島と富士山が見渡せる。遠近と画面構成を重視した原田さんならではの作品。

表紙の一豊潤な逗子湾夕照」（安西良矩段蛮4月）や11月の「寄り道」（福

賞した「鶴岡八幡宮白段に写る参拝者のシルエット」（大久保政芳さん）が紹介されている。このほか最優秀賞を鎌倉市長賞など入選作18点も載っている。

見開きB3サイズ、各3050

鎌倉彩光

本紙1面「鎌倉のほとけ紀行でおなじみの"古都カラファー"」原田寛さんの作品集‖写真右下。

今年から『湘南スタイル』の椎出版社の発行となり、構成やサイズが変わった。これまでの1見開きに2カ月たった写真が1カ月毎に掲載され、風景が2倍楽しめる。大きさもB4ワイドでひとまわり大きくなり写真の迫力増大。

1月は「稲村ヶ崎公園のサザンカ」で、遠方に江ノ島と富士山が見渡せる。遠近と画面構成を重視した原田さんならではの作品。

表紙の一豊潤な逗子湾夕照」（安西良矩段蛮4月）や11月の「寄り道」（福

逗子の魅力　再発見

逗子旅カレンダー2021

今年2回目の「逗子旅カレンダーフォトコンテスト」の入賞作品集‖写真。「逗子旅プロジェクト」企画の1つで、写真を通して逗子の魅力を発信してゆこうという意図。応募作品130点から選ばれた16作品を紹介。

表紙の一豊潤な逗子湾夕照」（安西良矩段蛮4月）や11月の「寄り道」（福

鎌倉能舞台

鎌倉能舞台が発行しているカレンダー。表紙の

の「明月院　悟りの窓からの紅葉」も目にまぶしい。巻末の高徳院の大仏がライトアップされている写真は圧巻。

販元の意向で花暦、行事、六曜は掲載されていない。星月写真企画ほか書店などで販売。1650円（税込）。星月写真企画☎0467・23・3694

逗子の魅力　再発見

逗子旅カレンダー2021

今年2回目の「逗子旅カレンダーフォトコンテスト」の入賞作品集‖写真。「逗子旅プロジェクト」企画の1つで、写真を通して逗子の魅力を発信してゆこうという意図。応募作品130点から選ばれた16作品を紹介。

表紙の一豊潤な逗子湾夕照」（安西良矩段蛮4月）や11月の「寄り道」（福

江ノ電カレンダー

藤沢市身の画家・湯浅誠氏が描く江ノ電沿線の風景画7点で構成。今年で10作目。

表紙の「七里ヶ浜駅鳥瞰」は、江ノ島を遠方に、緩やかな線路を走る江ノ電、家屋を配置。通行人など活気ある街の様子が描かれている。

「極楽寺の雪だるま」（1・2月）の駅前で雪だるまをつくる子どもたち、「紫陽花とカエル」（5・6月）の江ノ電で通勤通学する人々の姿など、暮らしとともにある江ノ電の風景が趣き深い。タテ59㌢ヨコ45㌢。江ノ電主要駅や売店など

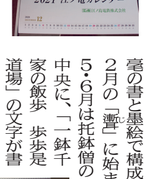
で販売。税込1300円。

のりおりくん引換券付フォトカレンダー

「江ノ電沿線フォトコンテスト」の入選13作品を月ごとに紹介。タテ18㌢ヨコ15・5㌢。1500部作成し藤沢、江ノ島、長谷、鎌倉駅で販売。1000円（税込）。江ノ電エリアサービス☎0466・23・2351

万葉　野の花

「橘は実さへ花さへその葉さへ枝に霰降れどいや常葉の樹　聖武天皇」や「ますらをの心思ほゆ剣大刀いよよ磨ぐべし古思ふなと」など万葉集で詠まれた野の花を描き、それぞれに因む万葉集の歌が添えられている。絵はいずれも野の花画家・阿見みどりさんの水彩画。しなやかな線と淡い色彩が味わい深い。和紙を使用した



安穏

北鎌倉の円覚寺発行のカレンダー。臨済宗円覚寺派第218世管長横田南嶺老師の毛筆の作品で、表紙は「安穏」の二文字‖写真。「日出海東西に現存しているから人間の本能的な動作に根ざしているといってよかろう。しかし、この世界共通の力に頼られるものへの変化して、現在の形になったと考えられる。

日本の相撲は農耕と結び付き、五穀豊穣を祈る神事として発展してきたのである。今でも8歳の孫と相撲を取るときなどは、蹲踞や仕切りの仕方は体が覚えていて、即座に立ち会いの姿勢をとることができる。

池田雅雄著『野見宿禰と大和出雲』（彩流社）を開くと、相撲に近い格闘技から邪馬台国の卑弥呼の時代の相撲の姿まで、豊富な写真と共に紹介されている。

『大相撲史入門』池田雅雄著

それゆえ、相撲は単なる格闘技あるいはスポーツとはいえない。日本の相撲は、欧米の近代スポーツのように勝ち負けや記録にこだわるものではなく、真善美を基調とした神への奉納儀礼で、芸能に近いものである。

この旅々として相撲道に継承されている伝統のえに、相撲は国技といわれ別格扱いされているのである。

最近刊行された池田雅雄著の『大相撲大入門』（角川ソフィア文庫）を繙くと、『古事記』以来の相撲の起源が解りやすく語られていて興味が尽きない。人類共通の力競べが、我が国の文化の中で、どのように今日のような姿に変容してきたのかが理解できる。巻末近くで、かしましい情報化時代の渦の中に巻き込まれて生活している我々にとっての相撲の究極の魅力を次のように語っている。

「相撲のこうした伝統の儀式は、我々日本人にとって、我々の体質の中に流れる血を感じさせる何かがある。すべてが西洋化した近現代の環境の中から、日本人の回帰、心のふるさとへの郷愁があるまいか。人間を神格化した横綱力士・これは強と正義と営々と生きる証の姿であり、人間の異界に託す姿でもある。」

このような示唆に富んだ視点から改めて相撲観戦を行うなら、力士たちの土俵の土を踏む力強い四股は、コロナという邪気を踏み破りてしまいたいと思う。

10月13日のモーニングセミナーを開催しています。見学自由。

鎌倉市倫理法人会事務局☎0465・31・2433

心のふる里を行く　㊱

コロナ禍の時代に大相撲を楽しむ

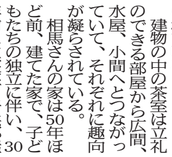
池田雅之

両国国技館で行われた大相撲11月場所は、ようやく通常の興業開催となった。コロナ禍で、先場所の観客数の上限は2500人であったが、今場所は5000人に増加され、場内の活気が戻りつつあった。しかし、白鵬、鶴竜の両横綱が初日から休場となり、さらには大関・朝乃山が、4日目からケガで休場、新大関の正代も4日目に土がつき、ケガのため5日目から休場に追い込まれた。コロナ禍の呪いなのか、なんとも意気のあがらぬ場所になった。

こんな折りだからこそ、相撲とは何か、何が一体、私たちを引きつけるのかを改めて考えてみたい。

小学生の頃、腰に真っ白いさらしの褌をつけ、校庭や神社の境内でよく相撲をとったものである。今でも8歳の孫と相撲を取るときなどは、蹲踞や仕切りの仕方は体が覚えていて、即座に立ち会いの姿勢をとることができる。

池田雅雄著『野見宿禰と大和出雲』（彩流社）を開くと、相撲に近い格闘技から邪馬台国の卑弥呼の時代の相撲の姿まで、豊富な写真と共に紹介されている。

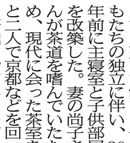


『大相撲史入門』池田雅雄著

東西に現存しているから人間の本能的な動作に根ざしているといってよかろう。しかし、この世界共通の力に頼られるものへの変化して、現在の形になったと考えられる。

日本の相撲は農耕と結び付き、五穀豊穣を祈る神事として発展してきたのである。今でも8歳の孫と相撲を取るときなどは、蹲踞や仕切りの仕方は体が覚えていて、即座に立ち会いの姿勢をとることができる。

池田雅雄著『野見宿禰と大和出雲』（彩流社）を開くと、相撲に近い格闘技から邪馬台国の卑弥呼の時代の相撲の姿まで、豊富な写真と共に紹介されている。



『大相撲史入門』池田雅雄著

いざっ!!鎌倉てらやど　㉒

2020年の思い出

鎌倉てらやど事務局　小木曽　駿

朝日新聞（1月8日付・朝刊）によると、全国の公立中高校の約15％が今年度の修学旅行の中止を決めたという。また実施するにしてもそのほとんどが宿泊日数を短縮する、行き先を近隣へ変更するなどの対応を余儀なくされている。

後になって振り返ったとき、子どもたちにとって今年はどのような年として記憶されていくのだろうか。学校が休校となり、友だちと遊ぶこともままならず、さんざんだった年として思い出されることになるのだろうか。運動会や文化祭も縮小され、特に最高学年の子どもたちは今まで当たり前にあったことが、ことごとく中止や縮小の連続だったのではないだろうか。

「ト「下「リックORお寺ンタン」

建長寺特別イベント

子どもたちは「なぜ自分たちの時だけ」と、憤懣やるかたない思いを抱え続けるのだろうか。

長い人生の中でそういうこともある」と大人が語るのは簡単だ。しかし、今を全力で駆け抜けている子どもたちに2020年のこの瞬間は「今」しかない。

だからこそ私たちは今まで同様とはいかないが、少しでも楽しい思い出を子どもたちに届けようと感染症拡大防止対策を徹底しながら、6月末以降、屋外での活動を再開。

8月と10月に建長寺さまの協力で特別イベント（各2日間・宿泊なし）を、11月に1泊2日のキャンプ活動を実施した。

わいわい話しながら食事できず、楽しみにしている学生の声もかなえられなかったが、参加した子どもたちは久しぶりに会う学生たちと全力で遊びながら、キラキラと楽しそうな表情を見せた。「学校行事も催しもことごとく中止が続いた中で単調な毎日の中で、（子どもは）とても刺激的で心から楽しめました」という保護者からの声もいただいた。

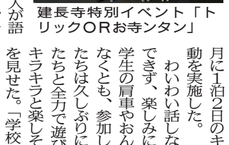
年末が差し迫っても状況が改善されている兆しは一向に見えてこない。しかし全てをコロナウイルスのせいにする前に私たちにできることはたくさんある。子どもたちが困難を切り拓いていける力を育むために、万全の感染防止対策を実施しながら催しを実現させるための知恵と、活動を実行する勇気、そして覚悟である。

鎌倉てらやど事務局

☎0467・84・9746

（平日13～17時）

http://kamakura-terakoya.net/



鎌倉能舞台

鎌倉能舞台が発行しているカレンダー。表紙の「二人静」にはじまり「藍染川」（1月）‖写真、「田村」（3月）、「鞍馬天狗」（4月）など月ごとに能の名場面が紹介されている。シテを演ずるのは同能舞台主宰の中森貞太さんと、健之介さんの親子ら。能面や豪華絢爛な衣装が見どころ。

見開きA3版、1430円（税込）。申し込みは同舞台　鎌倉市長谷3－1－13☎0467・22・5507

ほっこりアートカレンダー

障害者の就労支援を目的に活動する特定非営利活動法人「道」の発行。同法人が運営する障害者福祉サービス事業所「道」ほっこりアート」では、障害者一人一人の個性を活かしたアートをコミュニケーションツールとして会員たちが独創性豊かな作品を制作に取り組んでいる。

今年、新型コロナウイルスの終息を願って描いた「こづたん」（1月）をはじめ、ほっこりとする12作品。

見開きA3版、900円（税込）。道キャラリー、島森書店、松林堂書店、たらば書房で販売。

同工房の岩立美智理事長は「コロナ禍で展覧会が中止になり、通所者の収入になるアートグッズの売り上げが激減した。カレンダーの購入でご支援いただきたい」と話している。道工房☎0467・23・8772

花日和　田口圭介画集

小さい頃から絵を描くのが好きだった田口圭介さん（36）は、3年ほど前から工房に通い始めた。はじめは話もできなかったが、今では仲間と意思の疎通をしながら創作している。鉛筆や筆ペンで植物や動物などの絵を描く。一昨年の鎌倉市

展では優秀賞を受賞。

今年8月父親を亡くして制作意欲をなくしている田口さんを元気づけようと作品を1冊のカレンダーにした。繊細なタッチで描かれた「福寿草・弐」（3月）や「雨雫紫陽花」（6月）、12月

倫理研究所☎03・3262・4246FAX 03・3239・7430

今日の道しるべ

倫理研究所（5面に記事）発行の標語カレンダー‖写真。

1日目「今朝も、心は晴れいる」2日目「気づいたら即実行」と31分の標語が日めくりになっていて、袖には標語の説明が付いている。

「毎月繰り返し実践できるので、苦手を克服できた」と好評。タテ38㌢ヨコ13㌢の壁掛けタイプ。500円（税込）。

◇◇◇

＊愛読者プレゼント

「鎌倉」を5人、「能」を10人に。往復ハガキに希望カレンダー名と住所、氏名、年齢、電話番号を記入し、1面題字の住所の鎌倉朝日へ。12月5日消印有効。多数抽選。

◇◇◇

健康百科　通信　㉞

健康サポート薬局とは

薬剤師　長津　雅則

店頭に「健康サポート薬局」というステッカーが貼られた薬局があります‖写真左。

これは厚生労働省が定めた基準をクリアした薬局が名乗れる「厚生労働省基準適合健康サポート薬局」という表示です。

本来の薬局の姿は、地域住民が健康相談に訪れ、その状態に応じて生活習慣のアドバイスをし、その方の健康維持に必要な医薬品などを販売する機能があります。

しかしながら、最近では処方箋がない人向けに薬局が増えてしまっています。このような現状において、国は「セルフメディケーション」を担える機能に優れた薬局を、地域住民からも分かりやすくするように基準適合薬局の表示を許可することにしました。

大まかな基準の要件は、①一般用医薬品等の販売体制が整っている②在宅医療に一定程度の実績がある③地域包括ケアに貢献するための研修を修了している、などで、その他にも数多くの条件が課され、それをすべてクリアできた薬局のみが表示を許されています。

11月現在では、鎌倉市内で5薬局のみが該当しています。「街のよろず相談所」として、お近くの健康サポート薬局にお気軽にご相談ください。

シーガル調剤薬局　代表薬剤師　鎌倉市材木座1－7－25☎0467・25・6660

かかりつけ薬剤師にご相談ください
厚生労働省基準適合
健康サポート薬局

終の棲み家を考える　㊽　【最終回】

建て方と素材

現在建てられている住宅で左官仕上げがされている壁はごく少なくなっています。昔ながらの住宅の壁は発泡スチロールで作られています。細い竹芝しくは細く割いた竹を組合せ、細く編んだ荒縄を巻き付けた下地に、土と3㎝位に切った藁を水で良く練り混ぜた泥を塗っていました。人目につかない場所ならばそのままの壁の場合もあり、人の動きのある所は漆喰で仕上げたりしていました。

土壁や漆喰は断熱効果・調湿効果に優れており、押し入れや蔵等の通気の悪い所の壁に使われています。

漆喰は特に防火効果もあり見た目も美しいので、外壁には最適で神社・仏閣・お城等に多く使われています。

現在土壁は手間が掛かるので敬遠され、石膏を型はめで作られたボードが下地に使われています。仕上げにはニールクロスを貼るか、調合された既製品の漆喰を塗るか、消石灰とスサ（海藻）と糊を現場で調合して、発酵させた昔ながらの漆喰を塗るかで費用が変わり、空調効果にも差が出ます。

珪藻土も似たような効果がありますが、珪藻土は塗って固まった時点で乾いた状態ながらも約100年位かけて反応し固まり続けます。その間家人の健康を暖かく見守り続けるのです。

日向建設　鎌倉市大船1－15－3

☎0467・47・5454